

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 17日

事業所 放課後等デイサービス ライフチャレンジ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		いくつかのスペースを活用しています。	・学習スペース・屋外活動スペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切である	6			・人員配置基準を満たしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		福祉施設ですので基準はクリアしています。	・車椅子対応ができる程の広さのトイレ、玄関がフラットになっていて段差はほぼありません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		活動前後に行なっています。	清掃はアルコール消毒を行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		ITを取り入れながら行なっています。	・支援開始前・開始後の申し送り、ケース会議等を活用して業務改善につなげている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		全体会議で内容の確認を行なっています。	・アンケート集計結果を会議等で情報共有を行い、業務改善につなげている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		全体会議で内容の確認を行なっています。	HPIにて公開している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	今年度より開催致します。	令和6年度第三者委員会発足予定。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		支援内容やスキルアップしていく為に研修を開催しています。	県外から講師の先生をお呼びして研修会を行っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		モニタリングで内容の確認を行なっています。	アセスメントの内容を強化していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		エイブルを活用しています。	・新サポートノートえいぶるを活用
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		個別支援会議を行い支援内容を設定する。	計画書については個別の面談等にニーズの確認を行い、確認しながら設定しています
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			必要な支援、個別療育を考えながら支援を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6		個別支援会議を行い全スタッフで立案している。	・個別支援会議等で話し合いを行い、立案している。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		話し合いで検討しています。	支援会議等で現状を確認し工夫している。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		スタッフ間で検討しています。	スタッフ間で話し合い活動を組み合わせ作成していけるように取り組む。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		申し送りの内容の検討しています。	申し送り時・活動前に確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		情報の共有はその都度行っています。	・終業後は必ず振り返り、職員同士で気付いた点や申し送りをし情報共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		モニタリングの際に検証しています。	個別支援計画書を意識し記録を行っている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		保護者さんのご意見も聞きながら検討しています。	定期的なモニタリングで見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		参加者は相談員やご家族様と相談しています。	児童発達支援管理責任者や担当者が参画。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			申し送りやモニタリングの際に共有するようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6		該当者なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6		該当者なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		園へのお迎え時に担任と確認行っています。	保護者に確認行い各自事業所と連携し情報共有を行なっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		必要時会議を開催しています。	保護者に確認を行い各学校と連携し情報共有を行なっている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		土屋先生の研修に参加。 また、助言等を頂いている。	保護者に確認し情報共有を行なっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		様々な交流会を行なっています。	地域の児童館、子供会との交流は毎年行っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		写真や動画で共有しています。	申し送りやモニタリングの際に共有するようにしています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		SSTの専門の土屋先生の研修会を開催している。	SSTの専門の土屋先生の研修会に参加し、支援に反映しています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約時に丁寧に説明を行っています。	利用開始前に説明を行う。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		説明し確認を行い同意を得ています。	できるだけ丁寧にご説明を行っています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		6	できるだけ早く対応しています。	申し送りやモニタリングの際に行なっている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	今年度、研修会を開催し、呼びかけていきます。	家族参加型の行事の際に交流を行う
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		6	その様な事が起きないように丁寧に対応してまいります。	代表・管理者へ伝え全スタッフで共有し迅速に対応しております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		6	できるだけ発信しています。	HPやSNS、LINE等で周知しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している		6		情報漏洩防止のためサーバーを使用し管理しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		6	個々にあった対応法をスタッフ間で共有している。	絵カード・選択カードを用いている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6	どなたでも活用できるように対応している。	運動会やハロウィンパーティーを開催
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		6	マニュアルの作成や実施しているが周知不足でした。	作成をしています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		6	実際に避難になった時にスムーズに誘導ができた。	年に2回、訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		6	家族へ確認を行い、発作時の対処法を全スタッフ間で共有している。	利用開始前にご家族へ確認を行なってます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6	細かな変化の際にも確認をしている。	・保護者から、医師からの情報をいただき対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		6	付箋紙を活用して作成しています。	・ヒヤリハット報告書提出、共有している ・月1回の全体会議の中で、作成共有 ・全体会議等を通して、共有を図っている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		6	講師をお呼びして研修を行っています。	・年1回以上行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		6		研修会を通して職員全員で理解を深めていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。